

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 鹿児島大学

(2) 大学院名

鹿児島大学 大学院臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職学位課程）

(3) 大学本部の位置

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長			
学長	カクタ ヒロ 永田 行博 (平成15年1月)	ヨシダ ヒロ 吉田 浩己 (平成19年1月)	任期満了に伴う交代 ^⑩
研究科長		ヤマカ ヒロシ 山中 寛 (平成19年4月)	選考中であったが、平成19年4月就任 ^⑩

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称 (学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 (専門職学位課程) 臨床心理修士 (専門職)	2 年	15 人	30 人	基礎となる学部名等 該当なし

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 15 人	1.00 倍	
志願者数	(3) 50		
受験者数	(3) 47		
合格者数	(-) 17		
B 入学者数	(-) 15		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.00		

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成19年度	備 考
1年次	[-] 15	
2年次	/	
計	[-] 15	

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

該当なし

報告年度 区 分	退学者等の数	入学者数に対 する	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成18年度	[] 人 (主な理由)	%	左記のうち, 平成17年度入学者 人
平成19年度	[] 人 (主な理由)	%	左記のうち, 平成17年度入学者 平成18年度入学者 人

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

該当なし

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成18年度	[] 人	%	左記のうち, 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[] 人	%	左記のうち, 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

2 授業科目の概要

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職学位課程）

（1）授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床心理学基幹科目群											
臨床心理学原論	1	2			1						卒業要件及び履修方法 ①臨床心理学基幹科目群の全科目20単位を必修とする。 ②臨床心理学展開科目群の全科目16単位を必修とする。 ③選択必修科目群は、領域科目群より2科目、発達科目群より1科目、技法科目群のエスノグラフィック心理臨床論と他1科目の計10単位以上を選択する。 ④選択基礎科目群から2科目4単位以上を選択する。 ⑤修了単位は、50単位以上とする。
臨床心理面接学原論	1	2				1					
臨床心理査定演習Ⅰ	1	2				1					
臨床心理査定演習Ⅱ	1	2				1					
臨床心理面接演習Ⅰ	1	2			1						
臨床心理面接演習Ⅱ	1	2				1					
臨床心理事例研究演習Ⅰ	2	2			1	1					
臨床心理事例研究演習Ⅱ	2	2			2	1					
臨床心理査定実習Ⅰ	1	1			2						
臨床心理査定実習Ⅱ	2	1			1	1					
臨床心理面接実習Ⅰ	1	1			2						
臨床心理面接実習Ⅱ	2	1			1	1					
臨床心理学展開科目群											
臨床心理関連行政論	1	2			1						
臨床心理地域援助事例研究演習Ⅰ	1	2			3	2					
臨床心理地域援助事例研究演習Ⅱ	1	2			3	1					
臨床心理地域援助事例研究演習Ⅲ	2	2			3	1					
臨床心理地域援助事例研究演習Ⅳ	2	2			3	2					
臨床心理地域援助実習Ⅰ	1	1			3	1				集中	
臨床心理地域援助実習Ⅱ	1	1			3	1				集中	
臨床心理地域援助実習Ⅲ	2	1			3	1				集中	
臨床心理地域援助実習Ⅳ	2	1			3	1				集中	
総合的事例研究演習Ⅰ	2	2			6	3					
総合的事例研究演習Ⅱ	2	2			6	3					
選択必修科目群											
（領域科目群）											
学校心理臨床論	1・2		2		1						
福祉心理臨床論	1・2		2		1						
医療心理臨床論	1・2		2			1					
司法・矯正心理臨床論	1・2		2		1						
産業心理臨床論	1・2		2							集中	
（発達科目群）											
児童期心理臨床論	1・2		2								
青年期心理臨床論	1・2		2		1						
成人・老年期心理臨床論	1・2		2								
発達障害者心理臨床論	1・2		2			1					

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択必修科目群 (技法科目群)											
エスノグラフィック心理臨床論	1・2		2		1						集中
投映法論	1・2		2								
遊戯療法論	1・2		2		1						
グループ・アプローチ論	1・2		2								
ストレスマネジメント論	1・2		2		1						
臨床動作法論	1・2		2		1						
被害者支援論	1・2		2							集中	
選択基礎科目群											
臨床心理学入門	1		2			1					
学習・行動心理学特論	1・2		2								
認知心理学特論	1・2		2								
生活環境特論	1・2		2								
生涯発達論	1・2		2								
コミュニティ心理学特論	1・2		2		1						
臨床精神医学特論	1・2		2								
臨床精神薬理学特論	1・2		2			1					

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	25	0	47	[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1					
2					
3					

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1					
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

--

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

該当なし

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} =$$

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	m ² 36,590,769	m ² 0	m ² 0	m ² 36,590,769					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	358,213m ² (358,213m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	358,213m ² (358,213m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	166室	161室	603室	21室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	臨床心理学研究科臨床心理学専攻			9 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 446,246冊 〔115,270冊〕 雑誌 19,367冊 〔5,719冊〕 電子ジャーナル 10,904(10,612)	
		臨床心理学研究科 (専門職大学院)	141,029〔37,542〕 (141,029〔37,542〕)	2,733〔771〕 (2,733〔771〕)	[-] (- [-])	5,024 (5,024)	1,725 (1,725)		468 (468)
	計	141,029〔37,542〕 (141,029〔37,542〕)	2,733〔771〕 (2,733〔771〕)	[-] (- [-])	5,024 (5,024)	1,725 (1,725)	468 (468)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	15,527m ²		1,123席	1,174,000冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,876m ²		陸上競技場・球技場・野球場・テニスコート・武道館・体育館・室内プール・艇庫・弓道場・グラウンド						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	運営費交付金による。
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

4 既設大学等の状況

大学の名称	鹿 児 島 大 学										備 考
既設学部等の名称	修業年限	人定員	編入学定員	収定員	容 員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次人		人			年			
法文学部							1.08	S. 40	鹿児島市郡元1丁目21-30		※法文学部編入学定員は学部全体の定員で各学科収容定員の外数
法政策学科	4	95			440	学士(法学)	1.09	H. 9			
経済情報学科	4	145			580	学士(経済学)	1.08	H. 9			
人文学科	4	155			620	学士(文学)	1.08	S. 54			
			3年次								
			10		20						
教育学部							1.09	S. 24	鹿児島市郡元1丁目20-6		
学校教育教員養成課程	4	225			900		1.03	H. 9			
特別支援教育教員養成課程	4	15			60	学士(教育学)	1.08	S. 49			
生涯教育総合課程	4	35			140		1.18	H. 9			
理学部							1.07	S. 40	鹿児島市郡元1丁目21-35		
数理情報科学科	4	40			160		1.04	H. 9			
物理科学科	4	45			180		1.09	H. 9			
生命化学科	4	50			200	学士(理学)	1.08	H. 9			
地球環境科学科	4	50			200		1.07	H. 9			
医学部			2年次				1.00	S. 30	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		※医学部編入学定員は各学科収容定員の内数
医学科	6	85	10		560	学士(医学)	1.02	S. 30			
保健学科			3年次				1.00	H. 11			
看護学専攻	4	80	10		340	学士(看護学)	1.00				
			3年次								
理学療法専攻	4	20	5		90	学士(保健学)	1.00				
作業療法専攻	4	20	5		90		1.01				
歯学部							1.00	S. 52	鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
歯学科	6	55			345	学士(歯学)	1.00	S. 52			
工学部							1.10	S. 30	鹿児島市郡元1丁目21-40		※工学部編入学定員は学部全体の定員で外数
機械工学科	4	94			376		1.06	S. 30			
電気電子工学科	4	78			312		1.11	H. 4			
建築学科	4	55			220		1.09	S. 30			
応用化学工学科	4	60			240	学士(工学)	1.13	H. 3			
海洋土木工学科	4	48			192		1.10	H. 4			
情報工学科	4	60			240		1.09	H. 元			
生体工学科	4	60			240		1.13	H. 9			
			3年次								
			10		20						

農学部				1.07	S. 24	鹿児島市郡元1丁目 21-24
生物生産学科	4	80	320	1.08	H. 2	
生物資源化学科	4	60	240	1.08	H. 2	学士(農学)
生物環境学科	4	65	260	1.05	H. 2	
獣医学科	6	30	180	1.09	S. 24	学士(獣医学)
水産学部				1.14	S. 24	鹿児島市下荒田4丁目 50-20
水産学科	4	130	520	1.03	S. 50	
水産教員養成課程	4	10	40	1.25	S. 29	学士(水産学)
<u>博士(博士前期)課程</u>						
人文社会科学研究科				1.24	H. 10	鹿児島市郡元1丁目 21-30
法学専攻	2	5	10	1.10	H. 10	修士(法学)
経済社会システム専攻	2	10	20	1.15	H. 10	修士(経済学)
						修士(社会学)
人間環境文化論専攻	2	5	10	1.90	H. 10	修士(文学)
国際総合文化論専攻	2	8	16	1.00	H. 10	修士(文学)
臨床心理学専攻	2	—	12	1.08	H. 14	修士 (臨床心理学)
教育学研究科				1.48	H. 6	鹿児島市郡元1丁目20 -6
学校教育専攻	2	6	12	2.16	H. 6	
教科教育専攻	2	32	64	0.81	H. 6	修士(教育学)
医歯学総合研究科				0.87	H. 16	鹿児島市桜ヶ丘8丁目 35-1
医科学専攻	2	20	40	0.87	H. 16	修士(医科学)
保健学研究科				0.97	H. 15	鹿児島市桜ヶ丘8丁目 35-1
保健学専攻	2	22	44	0.97	H. 15	修士(看護学)
						修士(保健学)
理工学研究科				1.31	H. 10	鹿児島市郡元1丁目 21-40
機械工学専攻	2	27	54	1.44	S. 43	
電気電子工学専攻	2	24	48	1.62	H. 6	
建築学専攻	2	18	36	1.16	S. 43	
応用化学工学専攻	2	18	36	1.33	H. 6	
海洋土木工学専攻	2	15	30	1.23	H. 6	修士(理学)
情報工学専攻	2	18	36	1.44	H. 5	修士(工学)
生体工学専攻	2	15	30	1.13	H. 13	修士(学術)
ナノ構造先端材料工学専攻	2	28	56	1.24	H. 14	
数理情報科学専攻	2	12	24	1.12	H. 10	
物理科学専攻	2	11	22	1.81	H. 10	
生命化学専攻	2	15	30	1.13	H. 10	
地球環境科学専攻	2	15	30	1.09	H. 10	

※平成19年4月1日臨床心理学研究科設置に伴い、臨床心理学専攻は平成19年度から学生募集停止

農学研究科				0.97	S. 41	鹿児島市郡元1丁目 21-24	
生物生産学専攻	2	26	52	1.05	H. 6		
生物資源化学専攻	2	21	41	1.02	H. 6		
生物環境学専攻	2	22	44	0.85	H. 6		
水産学研究科				0.87	S. 44	鹿児島市下荒田4丁目 50-20	
水産学専攻	2	32	64	0.87	S. 54		
博士(博士後期)課程							
人文社会科学研究科				1.38	H. 10	鹿児島市郡元1丁目 21-30	
地域政策科学専攻	3	6	18	1.38	H. 15		
保健学研究科				1.05	H. 17	鹿児島市桜ヶ丘8丁目 35-1	
保健学専攻	3	6	18	1.05	H. 17		
医歯学総合研究科				0.75	H. 15	鹿児島市桜ヶ丘8丁目 35-1	
健康科学専攻	4	36	108	0.73	H. 15		
先進治療科学専攻	4	58	174	0.77	H. 15		
医学研究科					S. 34	鹿児島市桜ヶ丘8丁目 35-1	※平成15年4 月1日医歯学 総合研究科 (博士課程) 設置に伴い、 医学研究科は 平成15年度か ら学生募集を 停止。
生理系専攻	4	—	12		S. 34		
病理系専攻	4	—	8		S. 34		
社会医学系専攻	4	—	6		S. 34		
内科系専攻	4	—	14		S. 34		
外科系専攻	4	—	18		S. 34		
歯学研究科					S. 59	鹿児島市桜ヶ丘8丁目 35-1	※平成15年4 月1日医歯学 総合研究科 (博士課程) 設置に伴い、 歯学研究科は 平成15年度か ら学生募集を 停止。
歯学専攻	4	—	18		S. 59		
理工学研究科				0.91	H. 10	鹿児島市郡元1丁目 21-40	
物質生産工学専攻	3	7	21	0.80	H. 6		
システム情報工学専攻	3	7	21	1.33	H. 6		
生命物質システム専攻	3	8	24	0.91	H. 10		
ナノ構造先端材料工学専攻	3	12	36	0.63	H. 14		

連合農学研究科					1.58	S. 63	鹿児島市郡元1丁目 21-24
生物生産科学専攻	3	8	24	博士(農学)	1.62	S. 63	
生物資源利用科学専攻	3	7	19	博士(水産学)	1.61	S. 63	
生物環境保全科学専攻	3	4	12	博士(学術)	1.87	S. 63	
水産資源科学専攻	3	4	12		1.25	S. 63	
<u>専門職学位課程</u>							
司法政策研究科					1.00	H. 16	鹿児島市郡元1丁目 21-30
法曹実務専攻	3	30	90	法務博士 (専門職)	1.00	H. 16	
臨床心理学研究科					1.00	H. 19	鹿児島市郡元1丁目 21-30
臨床心理学専攻	2	15	15	臨床心理修士 (専門職)	1.00		

5 教員組織の状況

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職学位課程）

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
専	教授	山中 寛 (52)	平成19年4月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅱ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅲ 総合的事例研究演習Ⅰ 総合的事例研究演習Ⅱ ストレスマネジメント論 臨床動作法論 						
専	教授	平川 忠敏 (59)	平成19年4月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理事例研究演習Ⅱ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅰ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅳ 総合的事例研究演習Ⅰ 総合的事例研究演習Ⅱ コミュニティ心理学特論 						
専	教授	安部 恒久 (57)	平成19年4月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理学原論 臨床心理面接演習Ⅰ 臨床心理事例研究演習Ⅰ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅰ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅳ 総合的事例研究演習Ⅰ 総合的事例研究演習Ⅱ 遊戯療法論 						
実専	教授	松木 繁 (54)	平成19年4月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理査定実習Ⅱ 臨床心理面接実習Ⅰ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅱ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅳ 臨床心理地域援助実習Ⅰ〈集中〉 臨床心理地域援助実習Ⅱ〈集中〉 臨床心理地域援助実習Ⅲ〈集中〉 臨床心理地域援助実習Ⅳ〈集中〉 総合的事例研究演習Ⅰ 総合的事例研究演習Ⅱ 学校心理臨床論 青年期心理臨床論 						
実専	教授	落合 美貴子 (56)	平成19年4月	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理事例研究演習Ⅱ 臨床心理査定実習Ⅰ 臨床心理面接実習Ⅰ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅰ 臨床心理地域援助事例研究演習Ⅲ 臨床心理地域援助実習Ⅰ〈集中〉 臨床心理地域援助実習Ⅱ〈集中〉 臨床心理地域援助実習Ⅲ〈集中〉 臨床心理地域援助実習Ⅳ〈集中〉 総合的事例研究演習Ⅰ 総合的事例研究演習Ⅱ 福祉心理臨床論 エスノグラフィック心理臨床論 						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
実専	教授	高橋 泰夫 (60)	平成19年4月	・臨床心理査定実習Ⅰ ・臨床心理面接実習Ⅱ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅱ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅲ ・臨床心理地域援助実習Ⅰ(集中) ・臨床心理地域援助実習Ⅱ(集中) ・臨床心理地域援助実習Ⅲ(集中) ・臨床心理地域援助実習Ⅳ(集中) ・総合的事例研究演習Ⅰ ・総合的事例研究演習Ⅱ ・司法・矯正心理臨床論 ・臨床心理関連行政論						
専	准教授	中原 睦美 (46)	平成19年4月	・臨床心理面接学原論 ・臨床心理査定演習Ⅰ ・臨床心理査定演習Ⅱ ・臨床心理事例研究演習Ⅱ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅱ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅲ ・総合的事例研究演習Ⅰ ・総合的事例研究演習Ⅱ						
専	准教授	服巻 豊 (38)	平成19年4月	・臨床心理面接演習Ⅱ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅰ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅳ ・総合的事例研究演習Ⅰ ・総合的事例研究演習Ⅱ ・発達障害者心理臨床論 ・臨床心理学入門 ・臨床精神薬理学特論						
実専	准教授	金板 弥起 (41)	平成19年4月	・臨床心理事例研究演習Ⅰ ・臨床心理査定実習Ⅱ ・臨床心理面接実習Ⅱ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅰ ・臨床心理地域援助事例研究演習Ⅳ ・臨床心理地域援助実習Ⅰ(集中) ・臨床心理地域援助実習Ⅱ(集中) ・臨床心理地域援助実習Ⅲ(集中) ・臨床心理地域援助実習Ⅳ(集中) ・総合的事例研究演習Ⅰ ・総合的事例研究演習Ⅱ ・医療心理臨床論						
兼任	講師	井上 佳朗 (59)	平成19年4月	・生活環境特論						
兼任	講師	森岡 洋史 (50)	平成19年4月	・臨床精神医学特論						
兼任	講師	飯田 昌子 (34)	平成19年4月	・児童期心理臨床論						
兼任	講師	関山 徹 (34)	平成19年4月	・投映法論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	横山 春彦 (41)	平成19年4月	・認知心理学特論						
兼任	講師	富原 一哉 (42)	平成19年4月	・学習・行動心理学特論						
兼任	講師	針塚 進 (58)	平成19年4月	・グループ・アプローチ論(集中)						
兼任	講師	久留 一郎 (67)	平成19年4月	・被害者支援論(集中)						
兼任	講師	稲谷 ふみ枝 (42)	平成19年4月	・成人・老年期心理臨床論						
兼任	講師	山喜 高秀 (46)	平成19年4月	・生涯発達論						
兼任	講師	新田 泰生 (57)	平成19年4月	・産業心理臨床論(集中)						

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	3	0	0	9	0							
(6)	(3)	(0)	(0)	(9)	(0)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 専任教員交代の理由

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (19年4月1日)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実務を架橋して高度専門職業人の養成に特化した教育を実施するという専門職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>(その他意見) ○医療領域の実習先を増やして効果的な実習を行うよう配慮すること。 ○教員の資質向上に努めること。 ○インターネットについては、限定的に利用し、利用する場合も、セキュリティには十分に配慮すること。</p>	<p>以下のように認可時の計画どおりに履行している。</p> <p>1. 教育課程の整備 1) 規則 教育、福祉、医療、司法・矯正の4領域にわたって深い知識と卓越した能力を培うために必要な授業科目及び単位数(修了単位; 50単位以上)を整備し、鹿児島大学大学院臨床心理学研究科規則(平成19年4月2日から施行し、4月1日から適用)に掲げた。⑩</p> <p>2) 成績評価 (ア) FD委員会の立ち上げ ・平成18年12月、臨床心理学研究科準備委員会に教員全員を委員とするFD委員会を組織し、委員長1名を置き、FDに関する取り組みを開始した。⑩ ・平成19年4月、臨床心理学研究科発足に伴い、研究科にFD委員会を立ち上げ、委員長1名、副委員長1名を置いた。⑩ (イ) 成績評価活動について ・平成19年度前期より以下の評価を実施する準備を整えた。⑩ 5段階評定(A+, A, B, C, F) 評点: 100点満点評価(非常勤を含む) 成績分布: 15名の学生を評価 (10名未満の受講科目は対象外)</p> <p>3) 実務実習 平成18年12月、臨床心理学研究科準備委員会に教員全員を委員とする実習委員会を組織し、委員長1名を置き、以下のような実習に関する準備を完了した。⑩ (ア) 学内実習 ・実習委員会において実務家教員と教育研究教員が協議し、学内実習内容と評価システム及び成績評価基準を作成した。 (イ) 学外実習 ・実務家教員と教育研究教員が協議して学外実習内容と評価システム及び成績評価基準を作成した。 ・学外実習内容と評価システムを学外実習機関に周知徹底するため</p>	

に学外実習機関担当者用評価票を作成した。

・実務家教員と学外実習機関実習担当者からなる連絡協議会を組織し、学外実習内容と評価システム及び学外実習機関担当者用評価票について共通理解を図った。

4) 施設・設備

以下のように心理臨床相談室の整備を行った。⑬

(ア) プレイルームの拡充

既存の2つのプレイルームに加え、新規に2つのプレイルームを拡充した。

(イ) スーパービジョンルームの新設

個別指導の充実・強化を図るための実習施設として、2つのスーパービジョンルームを新設した。

(ウ) カンファレンスルームの新設

グループ・スーパービジョンやカンファレンスの充実・強化を図るための実習施設として、カンファレンスルームを新設した。

(エ) カウンセリングルームの拡充

既存の3つのカウンセリングルームに加え、新たに3つのカウンセリングルームを拡充するべく工事計画を開始した。

2. 自己点検・評価

1) 評価委員会の立ち上げ

(ア) 平成18年12月、臨床心理学研究科準備委員会に教員全員を委員とする評価委員会を組織し、委員長1名を置き、評価に関する取り組みを開始した。⑬

(イ) 平成19年4月、臨床心理学研究科の発足に伴い、教員全員を委員とする評価委員会を立ち上げ、委員長1名、副委員長1名を置いた。⑬

2) 委員会活動について

(ア) 成績評価基準作成に関するワーキンググループの開催

平成18年12月より、毎週、臨床心理学研究科準備委員会において教務委員、FD委員とともに、成績評価におけるGPAの実施と有効な活用、また、学外実習、学内実習における成績評価基準の作成に関するワーキンググループを開催した。⑬

(イ) 九州大学専門職大学院の視察

平成19年2月25日に、平成17年度に発足した臨床心理士養成の専門

		<p>職大学院である国立大学法人九州大学における評価委員会の取り組みについて、準備委員長、評価委員長による視察を行い、専門職大学院における評価項目等について協議を行った。⑱</p> <p>(ウ) 鹿児島大学自己評価報告書(案)への記載</p> <p>平成19年3月、大学機関別認証評価のための自己評価報告書(案)に、臨床心理学研究科設置認可申請書の厳正なる履行を踏まえて記載を行った。⑱</p> <p>3. 入学者選抜</p> <p>平成19年2月15～16日に臨床心理学研究科の入学試験を実施し、平成18年10月に人文社会科学研究科臨床心理学専攻として実施した入学試験において合格し、臨床心理学研究科への移行に同意した者(7名)と合わせて、入学定員15名の入学者を確保した。⑱</p>	
<p>設置計画履行状況 調査時 (年月日)</p>			
<p>設置計画履行状況 調査時 (年月日)</p>			

7 その他全般的事項

<臨床心理学研究科 臨床心理学専攻（専門職学位課程）>

(1) 設置計画変更事項等

該当なし

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり)</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期 ・平成22年5月1日 公表予定</p> <p>b 公表方法 ・自己点検・評価報告書を刊行し, 臨床心理士養成機関(147大学院)及び希望する学生に各1冊を配布予定 ・大学ホームページ上に公開予定(平成22年8月末を予定)</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・平成23年度に認証評価を受けるべく, 学内で検討中</p>
--

①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

複雑化・多様化する心の問題に即応できる、高度の臨床心理士養成に特化した専門職大学院の教育システムを導入することが、社会的要請に応えることになるものと考え、本研究科の設置を計画した。この趣旨は、平成19年2月に実施した初年度の入学試験において、受験者数が、8名の募集に対して約4倍（30名）となり、全国19大学の卒業予定者及び社会人から応募があったことから、社会的に理解され認められたものと考えることができよう。

本研究科の教育目的は、（1）個別支援、集団支援、地域支援、危機介入支援のできる人材の育成、（2）地域文化を視野に入れた心理臨床ができる人材の育成である。この目的を達成するために、臨床心理士の主要な職能領域である、教育、福祉、医療、司法・矯正の各領域での実践的学習を充実・強化した教育課程を編成し、国際教育水準をキャッチアップした実習時間と、実務家教員による個別・少人数指導による教育体制を設定した。

本研究科では、理論に基づいた実践的教育課程を提供するために教育領域と福祉領域の実務家に加え、新たに医療領域と司法・矯正領域から実務家教員2名を迎えけるとともに、実務家教員と教育研究教員の協議に基づき実習内容や実習評価システムの準備を完了した。

学内実習施設である鹿児島大学大学院臨床心理学研究科心理臨床相談室の整備も順調に進み、プレイルームを拡充し、個別指導を行うスーパービジョンルーム並びにカンファレンス・ルームを新設した。

学外実習については、実務家教員と学外実習機関担当者からなる実習連絡協議会を組織し、実習内容、実習評価システム、学外実習機関担当者用の実習評価票について共通理解をはかり、円滑な実習環境の整備を進めた。さらに、学外実習機関との協議の結果、実習受け入れ定員についても了解を得て、2年次修了までに教育、福祉、医療の3領域4箇所の臨床現場で実務経験を積めるように学外実習体制を整備した。

以上のようなことから、認可時の計画どおりに履行していると考えることができよう。

(3) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年10月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年10月1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する)